



「住まいと暮らし」を
考える参加型コミュニティ
トライアル結果レポート
(2020年7月～9月実施)

株式会社デベロップジャパン UXDセンター
[お問い合わせ] <https://uxd-kurashi-lab.com/contact>

本調査の概要

前回、当社が2020年4月28日から5月27日の間に行った調査では、コロナ禍で外出が制限される中、住まいや暮らし方への志向の変化も加わり、35%の人が住み替え意向が高まったと答えていた。

一方で、外出の自粛やモデルルームの休館など、住み替え活動が進められなかった人が64%にのぼっており、ニーズはあるもののそれに対応できていない現状が浮き彫りとなった。

そこで、本調査では、住まいや暮らしをよりよくしたいと考える20代～40代を対象に、オンラインコミュニティを運営し、現状の課題をより具体的に把握するとともに、それぞれの課題に寄り添った情報の提供や体験機会を創出することによる、消費者の意識・行動が変化するきっかけを検証した。

調査の結果、コミュニティの参加によって、「住宅や暮らしへの知識が深まった」と考える人が85%、「住宅や暮らしを変えたい」と考える人も81%と高い結果が得られた。

そのきっかけとしては、「他の人のコメント」が71%と最も高いものの、コミュニティ内で実施したイベントの参加者に絞ると、「イベントへの参加」が75%となっており、コミュニティを通じて、他の人の考えや取り組みを知ることができることに加え、専門家の意見を聞けることで、行動に移すきっかけを得ることができることが判明した。

また、参加者のコメントからは、本コミュニティの特徴として、①興味や生活課題の同質性②価値観の多様性③コミュニティの信頼性④営利性や偏見のない中立性が挙げられた。

人と人の接点が減る中で、住まい・暮らしに関し、同じ課題意識を持った人たちとの交流を通じて、多様な価値観に触れながらも、専門的な知見が介在することにより、考えを深め、行動変容につながることで検証できた。

参加者の属性

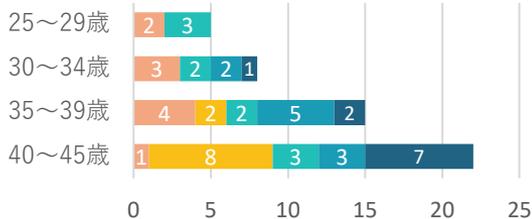
暮らしを良くしたいと考える
20～40代の男女50名が参加。

- A：（不動産購入経験なし）共働き子供ありの父母（小学生未満） 10名
- B：（不動産購入経験なし）共働き子供ありの父母（小学生以上大学生以下） 10名
- C：（不動産購入経験なし）共働き子供なしの父母（DINKS世帯） 10名
- D：（不動産購入経験あり）共働き子供あり世帯の父母 10名
- E：（不動産購入経験あり）片働き子供あり世帯の父母 10名

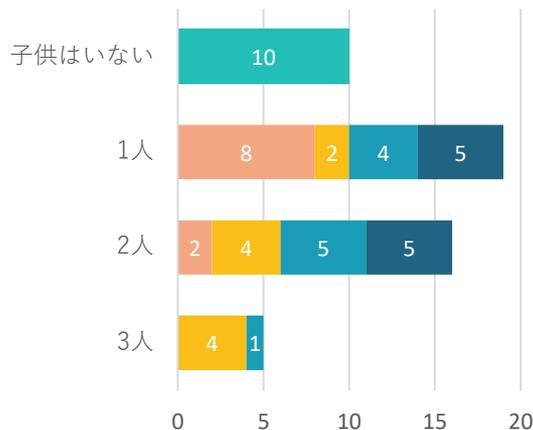
性別



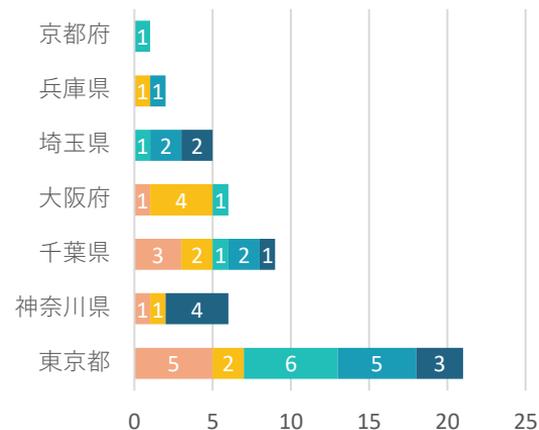
年代



子供の人数



居住地



体験の流れ

コミュニティ運営者より「お題」を提示。

参加者はお題に回答しながら、他の参加者の回答も参考にし、課題を再認識したり、新たな知見を取り入れることが可能。

参加者の回答結果をもとに、各テーマにあったイベントを企画・実施。

イベントの様子は、翌週にはレポートとして発信され、体験者のコメントと合わせて読むことで関心を高めるきっかけに。

“お題”への回答

リモートワークを快適にする
アイデアについて

興味のある暮らし方は？

気になる家電・ツールは？

DIYしたいアイテムは？

イベントへの応募

座談会
「リモートワークと暮らし」

座談会
「気になるスマート家電」

体験（オンライン/オフライン）
「DIYにチャレンジ！」

座談会
「成長する間取り」

座談会
「住まいと暮らし」

参加・体験



自分の
暮らしで
実践！

お題1：リモートワークの課題

リモートワークを行う中で課題と感ずることはなんですか？



自宅で仕事するうえでの課題は
 「オンとオフの時間が切り替えにくい」
 「集中できない」

おうちカフェコーナーの設置や、
 光の量を多く取り入れる工夫など、生活の中の
 ちょっとしたアイデアで快適なリモートワークに。

快適にするためのアイデア（参加者の投稿より）

おうちカフェのコーナー設置

主人が売上管理の役職で、別の部屋でリモート会議をしていてもビリビリした雰囲気の家全体に広がり、子供達も子供部屋に押し込まれ静かに遊ぶように言われ、萎縮している感じがありました。



このままではどんどん窮屈になっていくので、家族のみんなが少しでも気持ちがほぐれるよう、自宅での飲み物をひと工夫。アイスコーヒーや紅茶、日本茶、ソーダなど、一息つくタイミングで好きなものを選ぶように用意しました。

アイスカフェラテも喫茶店のようにミルクと二層になるように入れてみたり、かき氷のシロップとアイスでメロンソーダを作ったり。画像映えするような飲み物を家で作る習慣は全くなかったのですが、喫茶店も自庫でなかなか一息つくために行くことが出来なかったため、小さなことでも気をゆるめるきっかけになれてよかったです。（40代女性）

光の量を調節。カーテンやブラインドを取り入れる。



私が集中できない理由は、「光の量」が深く関係しています。

自宅は会社と違って空間が狭いので、外部環境の変化に心理面で左右されやすいとのこと。そこでカーテンや照明によって光の量をコントロールすることによって、ある程度集中力を維持することができるようになりました。（20代男性）

お題2：興味のある暮らし方

次のうち、興味のある暮らし方はどれですか？



家はそのままで・・・でも、リモートワークが進むなら、いっそのこと・・・！
ワーケーションや地方移住への興味関心も。

暮らし方をどう見直すか（参加者の投稿より）

“今すぐ”ではなく“いつか”を視野に入れた新しい暮らしづくり

【投票項目】

- ・ 家や会社以外に仕事場をもつためのコワーキングスペースの利用、
- ・ 住居用と仕事用に複数のロケーションを持つ多拠点居住（セカンドハウス）

集中して仕事をするのであれば、家を離れた方がよいと思います。

人の目があがり仕事に集中しやすい、コワーキングスペースも利用していますが、本格的に在宅勤務になったら、住居とは別にワンルームマンションを買うか借りるのも手かなと思って興味を持っています。（40代 男性）

ワーケーションで2拠点生活の足慣らしをしてみたい

【投票項目】

- ・ 家はそのままで、仕事をするのに快適な環境づくり
- ・ リゾートなどに滞在しながら働くワーケーション
- ・ 住居用と仕事用に複数のロケーションを持つ多拠点居住（セカンドハウス）

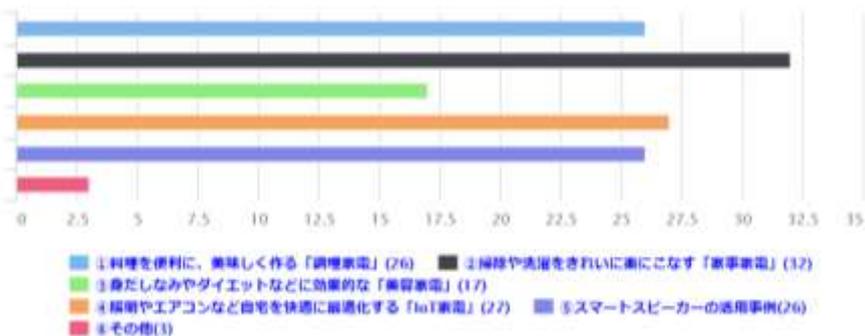
小学生、中学生、高校生の子供がいるので今すぐに転居はやはり現実的ではないですが、リゾートで心も体も癒されながらリモートワークは最高です！

我が家は夫婦共にリモートワーク可能なので、子供達がある程度大きくなったら叶えたい夢です。

（40代女性）

お題3：気になる家電

次のうち、気になるものはどれですか？



おうち時間が増える中で、
生活を豊かに便利にする家電への注目度も上昇中！

使いこなせないかも・・・と手が出せていなかった
スマート家電にも、他の人のコメントで興味が高まる。

暮らし方をどう見直すか（参加者の投稿より）

ロボット掃除機導入で、おうち時間もストレスフリーに

ロボット掃除機が気になっています。

ロボット掃除機があれば仕事の間に部屋がキレイになる！という部分も魅力的なのですが、それ以上にロボット掃除機に掃除をしてもらおうと思うと、部屋を片付けておかないといけない訳で.....

片付けが苦手な私や子ども達が片付けるキッカケの1つになるかなと。

子ども達に毎日「片付けろー！」と怒ったりイライラする事も少しは減るかな、とも思っています。（30代女性）



スマートスピーカーを活用してテレビや玄関ロックなども



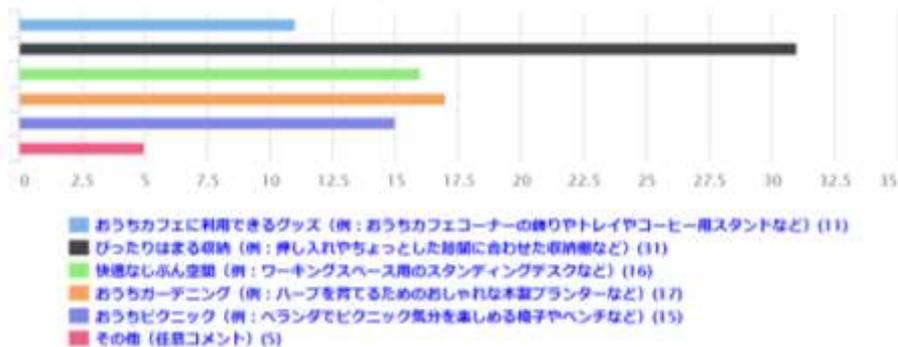
スマートスピーカーは、我が家ではLDK各部屋に、スマートディスプレイのグーグルネストハブマックスと、子供部屋2つとベッドルームにグーグルホームミニを置いています。

その上で、テレビ、シーリングファン、玄関のロックなどを音声操作したり、Spotifyで音楽や朝ニュースを聴いたり、他にも料理をしていて切れた調味料があるとGoogleのショッピングリストに音声で登録したりと、色々便利に使っています。

（40代男性）

お題4：DIYしたいもの

次のうち、DIYでつくってみたいものはどれですか？



DIYしてみたいNo.1は「収納まわり」

おうち時間が増える中でやっぱり気になる収納

自分の暮らしにフィットするものを自分の手で。

DIYでつくったものはどんな風に活用するか（参加者の投稿より）

ラブリコを使って本棚作り

“ないなら作ろう”というタイプなので、普段から色々自分で作ります。

最近、床と天井で2×4の木材を突っ張れるラブリコで本棚を作りましたが、クローゼットの中にも使ってみたいと思っています。

ラブリコに限らず、収納スペースにシンデレラフィットするものを作りたいです。

(30代 女性)



パーテーションやロールスクリーンでテレビ会議の背景対策を



ワークスペース用にパーテーションやロールスクリーンを設置したいです。

こども達の塾までもがリモートになりつつあるのですが、もう背景に見せられる場所が家の中にありません。

簡単に布を吊り下げて室内を見せないようにしたいくらいなのですが、明らかに布を下げているだけにはしたくない.....。

いいアイデアがあれば教えて欲しいです。

(40代 女性)

投稿内容から見た課題意識

コロナ禍で外出が制限され、在宅時間が増える中、暮らしへの課題が顕在化。

去年子供ができて、どんどん増える子供用品の収納や子供部屋作りに悩んでいます。

おもちゃやオムツ用品がすぐに手に取れるよう、いまはリビングに無造作に置いてありますが、つかまり立ちするようになり、散らかされる一片付けるを延々繰り返しています。子供にいたずらされない且つオシャレな収納方法を教えていただきたいです。

また、リビングからスライドドアでつながる部屋もリビングから続けて広く使う用途のほすが、ドアを閉めっぱなしで物置と化しているの、そういう部屋の有効活用方法が知りたいです。

天井が高めのマンションなので、クローゼットも高さがあり、上の方のスペースをどう使ったらいいのか分からず困ってるので、そういう収納スペースの使い方も教えていただけたら嬉しいです。 (30代 女性)

現在家を探していて、最初は新築物件もたくさん見たのですが、**中古物件を購入してフルリノベをかけるのがいいのではないかと**いう可能性が出てきました。

しかし現実問題、何をどうしたらいいか分からないという状況です。今お世話になっている**不動産屋さん**はリノベーションありきの探し方にはあまり協力して**もらえない**ので、まさに物件探しからやり直さなくてはならないのかなと話し合っていたところでした。 (40代 女性)

年齢的・状況的に、買うか買わないかの判断をそろそろしたほうがいいのか、と思っています。子供がいないので残すに残せないものの、**老後を考えたら買うべきなのかどうか決めかねています**。買うのなら新築がいいのか、築20年程度の中古をリノベーション or リノベーション済みとして近隣で見かける築50年級物件が良いのか、実はマンションのほうが何かと楽なのか、そして場所は、などと疑問が尽きません。

できれば戸建ての平屋かマンションの2階までに住み続けたいのですが。コレ！という答えはなくとも、指針やヒントになればと思います。 (40代 女性)

実施イベント（座談会・企画）

参加メンバーの課題に合わせて座談会や体験会を企画



オンライン座談会
リモートワークと暮らし

参加希望者 **46名** / 50名

参加メンバーの声 イベントの後、すぐに主人とこのイベントの話をしました。私が田舎への移住に最初は消極的だったので、このイベントに参加したのがよっぽど嬉しかったらしく…それで今できることをいろいろ話しました。



オンライン座談会
スマート家電を使いこなそう

参加希望者 **45名** / 50名

参加メンバーの声 さすが家電のプロといった感じで、どんな質問に対しても分かりやすく答えてくださりました。おすすめの型番や、押さえておくべきポイントなど教えて頂き、早速チェックしました。



オンライン座談会
成長する間取り

参加希望者 **46名** / 50名

参加メンバーの声 お洒落なりノベーションの最前線のプロの意見を聞くことができました。特に縦の空間を使うという事例は勉強になった。暮らしについていろんな悩みと実体験を持つ参加メンバーの意見を聞くことができました。



オフ/オンライン体験企画
初めてのDIYにチャレンジ

参加希望者 **42名** / 50名

参加メンバーの声 DIYチャレンジのイベントで、踏み台を作成してみても楽しいと思いました。もっと自分が欲しいと思った収納やツールを、自分で作れるようになればいいなと思うようになりました。



オンライングループ相談会
住まいと暮らしの相談会

参加希望者 **42名** / 50名

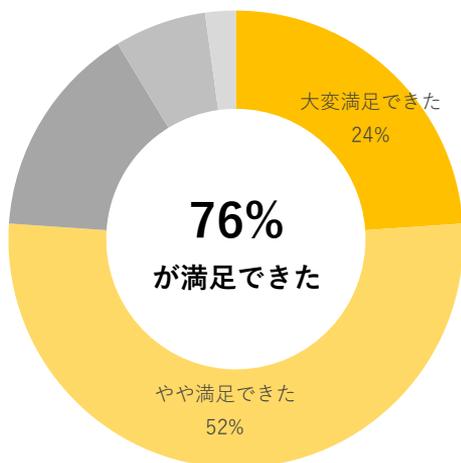
参加メンバーの声 住まいの中立的な立場の専門家からお話を聞いたことで、家探しや、賃貸・売却に出す際の具体的なやり方など、普段の生活では知る事のできない情報を得ることが出来ました。

コミュニティへの満足度

参加メンバーの75%以上が「満足できた」 90%以上が「継続したい」と回答。

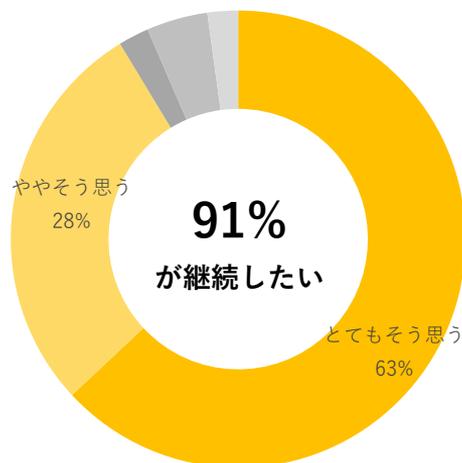
総合的な満足度は？

(n=47)



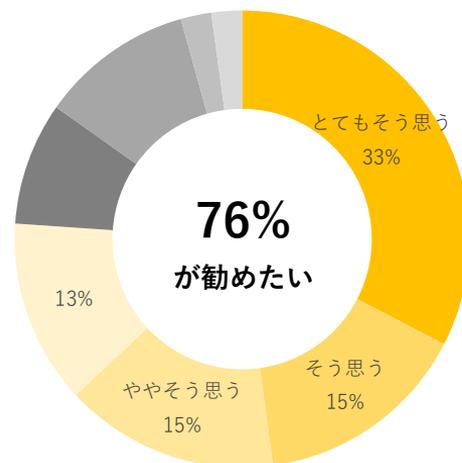
継続したいか？

(n=47)



友人に勧めたいか？

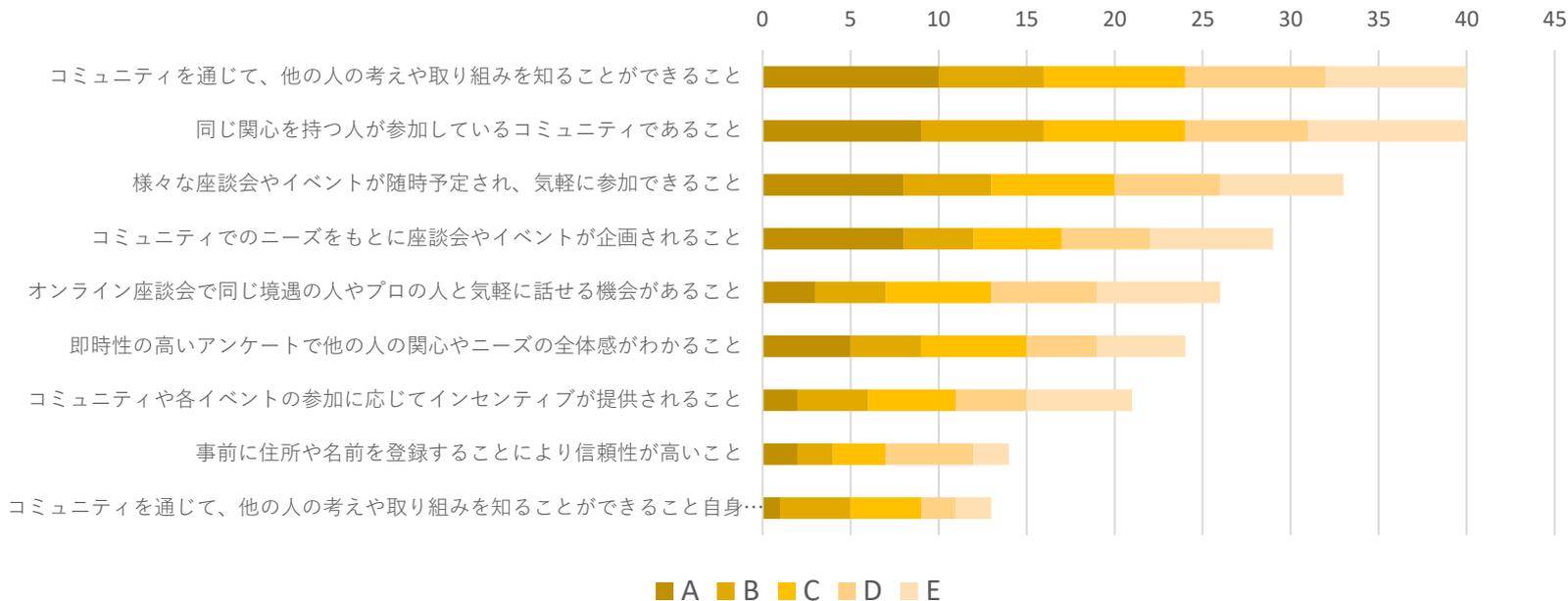
(n=47)



コミュニティの特徴として評価するポイント

「コミュニティを通じて、他の人の考えや取り組みを知ることができること」
 「同じ関心を持つ人が参加しているコミュニティであること」 を高く評価

コミュニティの特徴として「よい」と思うポイントをお選びください。（複数選択）



コミュニティに対する評価（参加者コメントより）

発見や学びがあり、実際に行動に移そうという前向きな意見が多い。

様々な視点で考えることが出来た。
イベントに参加でき、**プロの意見を直接聞いて大変有意義**だった。

（30代 女性）

同じ悩みや興味の人とコミュニケーション取れるのがよかったと思います。

同じ興味を持った人が集まっているコミュニティは初めてで経験がありませんでした。

（40代 男性）

他の方の現在の住まいへの悩みなどを読んで、**共感したり新しい意見を見て納得したりできたことはよかった**。

（20代 女性）

コロナで資産をどうするかということを日常的に考えるようになって、投資信託とか資産運用が気になるが、**中立的な立場で情報が得られないという不安感が拭えない**。

暮らしラボは座談会の時に中立性を感じた。

（30代 男性）

自分の生活とは、まったく違う人達との座談会に参加させて頂いてとても新鮮で勉強になった。

送られてくるお題のおかげでその都度、今後の生活や自分の住まいの事などを考えるいいきっかけになった。

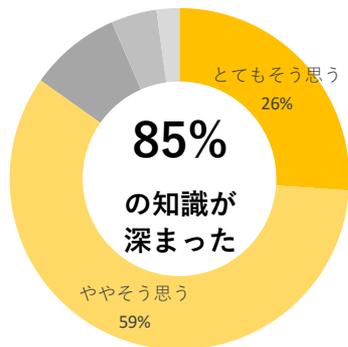
（40代 女性）

コミュニティによる影響

コミュニティへの参加によって、80%以上が「知識が深まった」「住まいや暮らしを変えたい」

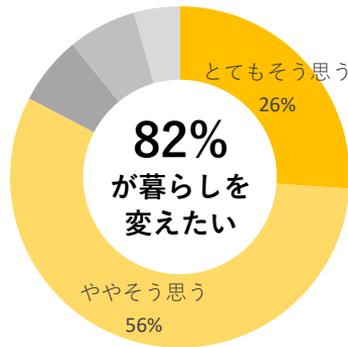
コミュニティへの参加によって
住まいや暮らしについて知識は
深まったと思いますか。

(n=47)



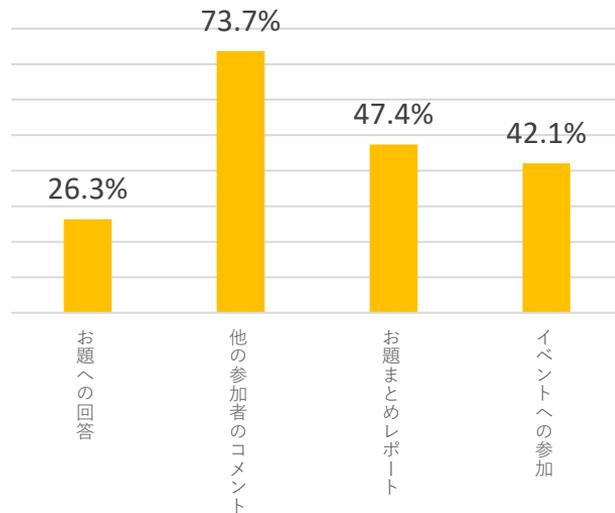
コミュニティへの参加によって
住まいや暮らしを
変えたいと思いましたか。

(n=47)



住宅や暮らしを変えたいと思ったきっかけ
になったコンテンツは何ですか？

(n=38)





コミュニティによる影響（参加者コメントより）

他の参加者のコメントによって、興味・関心をもったり、実際に試そうというきっかけがうまれた。

長野に移住して働いている方の生活をお聞きして刺激を受けました。

しばらくの間、二拠点居住をしながら移住するかどうかについて夫婦でじっくり考えていきたいです。

またDIYイベント参加により自分でリモートワーク用の簡易デスクを作ってみようと思うようになりました。

（40代 女性）

暮らしの相談会で家族の規模に対して間取りが狭いと言われ踏ん切りがついた。

まずは査定してもらうのがいいですよと具体的なアドバイスももらい、不動産屋への相談に行こうと思えた。

また、自宅に届く不動産のチラシで立地や価格などを全てチェックするようになった。（30代 男性）

テレワークを快適にするとかおうち時間を快適にするっていうので、インスタントのコーヒーをいっぱい置いてみたりとかが印象に残っていて、私も日々の楽しみっていうものがないので、それをちょっと真似してみました。（30代 女性）

コミュニティの価値

参加型コミュニティとして、「同質性」「多様性」「信頼性」「中立性」が重要なカギとなる。

興味や生活課題の 同質性

同じ悩みや興味が一緒の方と情報交換できたのが良かった。同じ興味を持った人が集まって話ができるコミュニティは初めて。これまで経験がない。(40代 男性)

自分と似た境遇の人のリアルな質問にプロが答えていく形がよかった。(30代 女性)

価値観の 多様性

違ったジャンルを見れるのが新鮮で、こんなことされてるんだとかこういう工夫をされてるんだとか、すごく見るのが楽しかったというのがあります。(40代 女性)

全く考えていなかった話題に触れられるのは自分の人生の餌になるので嬉しい。(20代 男性)

コミュニティへの 信頼性

みなさんがちゃんと考えていて真摯に回答していた。理由や悩みが長文で、プロフィールを見なくても、家族構成とか生活が垣間見えたから安心できた。(30代 女性)

営利性や偏見のない 中立性

営利ではなく、暮らしを良くしようとするという姿勢が見られた。(40代 男性)

暮らしの変化に興味を持ったときに、今は直接業者に相談しなくてもはいけませんが座談会のゲストのような方に相談できる気軽な場所があると良いと思いました。(30代 女性)

コミュニティへの期待（参加者コメントより）

コミュニティに参加することで、自分の暮らしを見直す機会にするだけでなく、企業や社会への提案機会にしていくことへのモチベーションも見られた。

このコミュニティにでコメントすることで**企業の課題を解決できる**ことはいい機会だと思う。

商品の試用モニターなども、例えば、モニターテスト品などなら普段自分が使えるようなもので、時間や場所的にも無理のない形でできることであればやる。

（40代 女性）

最新のAI家電や暮らしの道具等について、実際の使用モニターの様な制度があると良いと感じました。

（一定期間利用して、モニターした上で利用した機器を安価で買い取ることができる等）。

（40代 男性）

サービスや商品についてのアドバイスがほしい消費者と、**消費者の意見が聞きたい**メーカーをつなぐ場があれば、と思います。

1対1だと、消費者側が身構えてしまうこともあるので、複数人の消費者に対して、メーカーの担当者1名が対応すると、気軽に質問できる気がします。

（30代 女性）

「暮らしの知」の探索と深化

多様な価値観の中で
「正しい暮らし」なんてない時代。

一人で考えるのではなく、
対話や体験を通じて新しい視点を得ること、
本気で相談できる人と考えること。

そのような、
みんなで答えを見つけていく機会が必要です。



消費者の課題意識を知り
新たな価値を創造する場としての活用可能性



株式会社デベロップジャパン UXDセンター
[お問い合わせ] <https://uxd-kurashi-lab.com/contact>